

2017年度第2四半期決算の概要

(2017年4月1日～2017年9月30日)

ご説明資料



“特殊”だけど“身近”な「特殊鋼」



山陽特殊製鋼株式会社



<http://www.sanyo-steel.co.jp>

目次

1. 2017年度第2四半期決算の概況

損益の概要

業績推移(四半期)

経常利益の変化要因

(2016FY上→2017FY上、2016FY下→2017FY上、2017FY1Q→2017FY2Q)

セグメント別損益、セグメント別損益推移(半期)

貸借対照表

キャッシュ・フロー

設備投資・減価償却費の推移

2. 2017年度業績予想等

2017FY業績予想

配当について

経常利益の変化要因

(2017FY上期実績→2017FY下期予想)

3. 参考資料

財務指標の推移

その他のトピックス

損益の概要

(単位:億円、%)

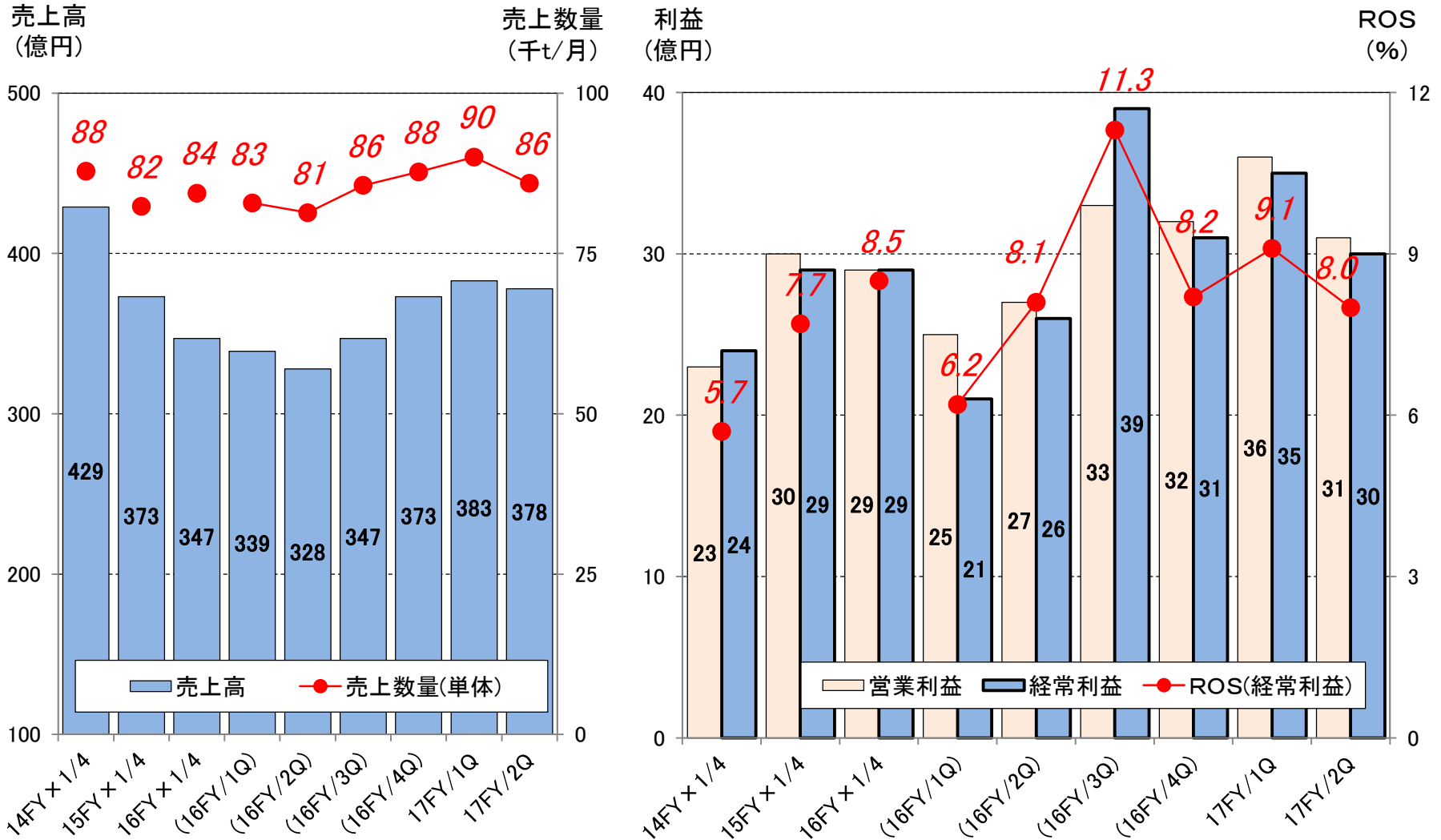
	2017FY上期 (A)		2016FY上期 (B)		対前年同期 (A)-(B)		2017FY上期 予想(注1)	
	金額	売上高 比率	金額	売上高 比率	金額	増減率	金額	売上高 比率
売上高	761	100.0	667	100.0	93	14.0	750	100.0
営業利益	66	8.7	52	7.8	14	27.3	62	8.3
経常利益	65	<i>ROS</i> 8.6	48	<i>ROS</i> 7.1	18	36.8	62	<i>ROS</i> 8.3
純利益(注2)	43	5.6	31	4.7	11	35.4	41	5.5
<i>ROE(%)</i> (注3)	6.8		5.5		+1.3			

(注1)2017年7月28日(第1四半期決算発表日)開示の予想値

(注2)親会社株主に帰属する四半期純利益

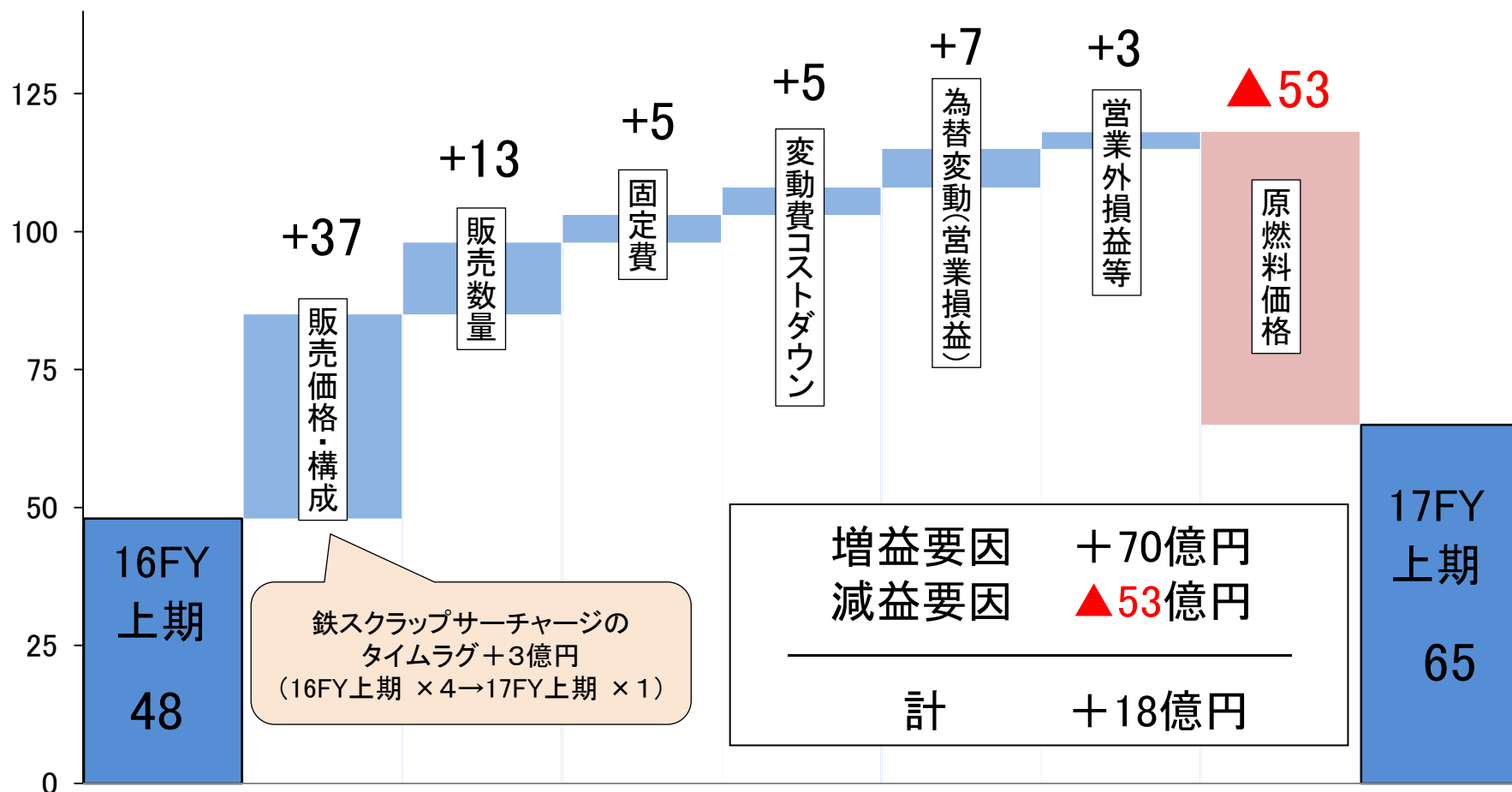
(注3)利益を年換算している

業績推移(四半期)



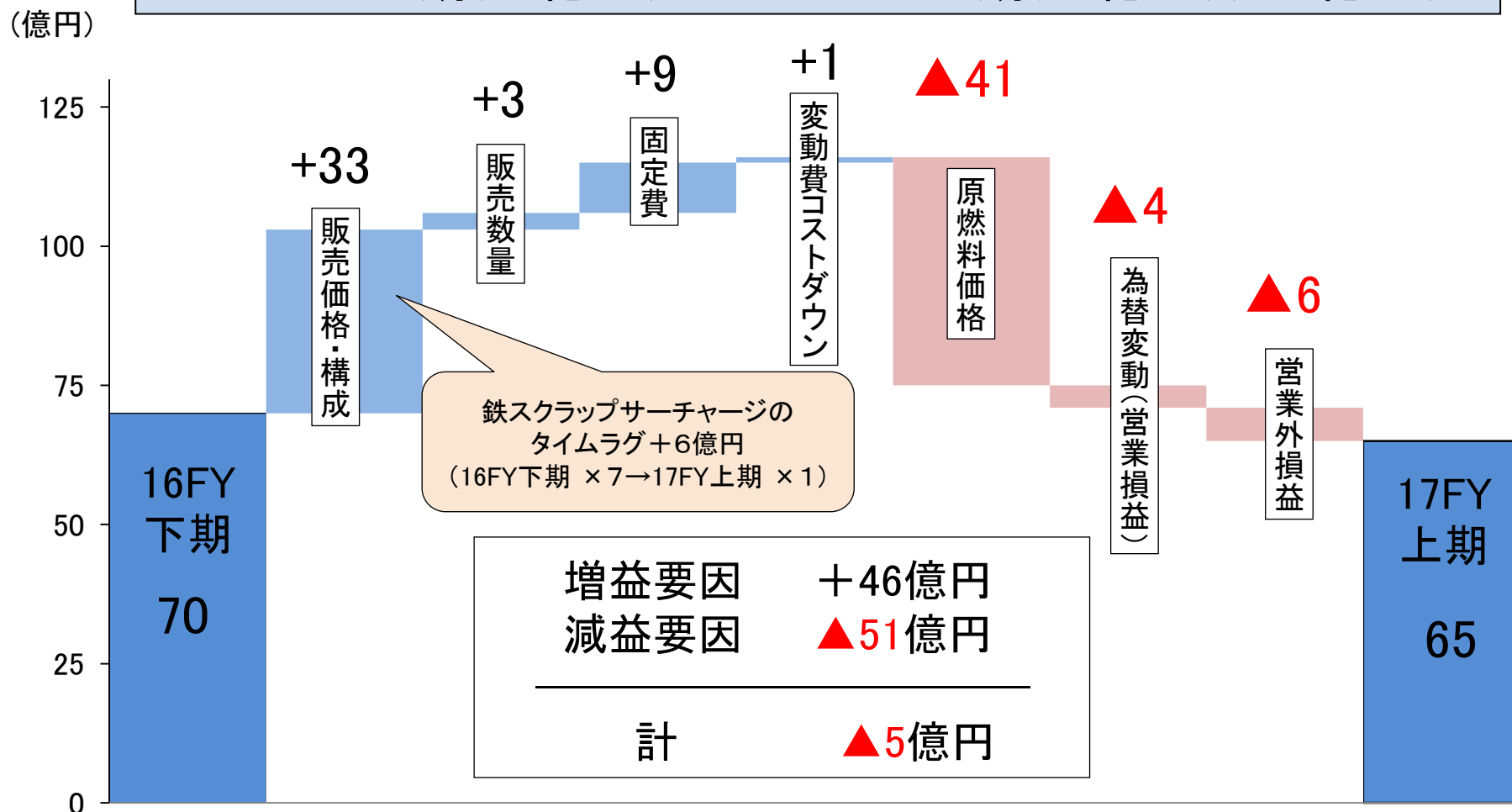
経常利益の変化要因

(億円) 2016FY上期(48億円) → 2017FY上期(65億円)(+18億円)

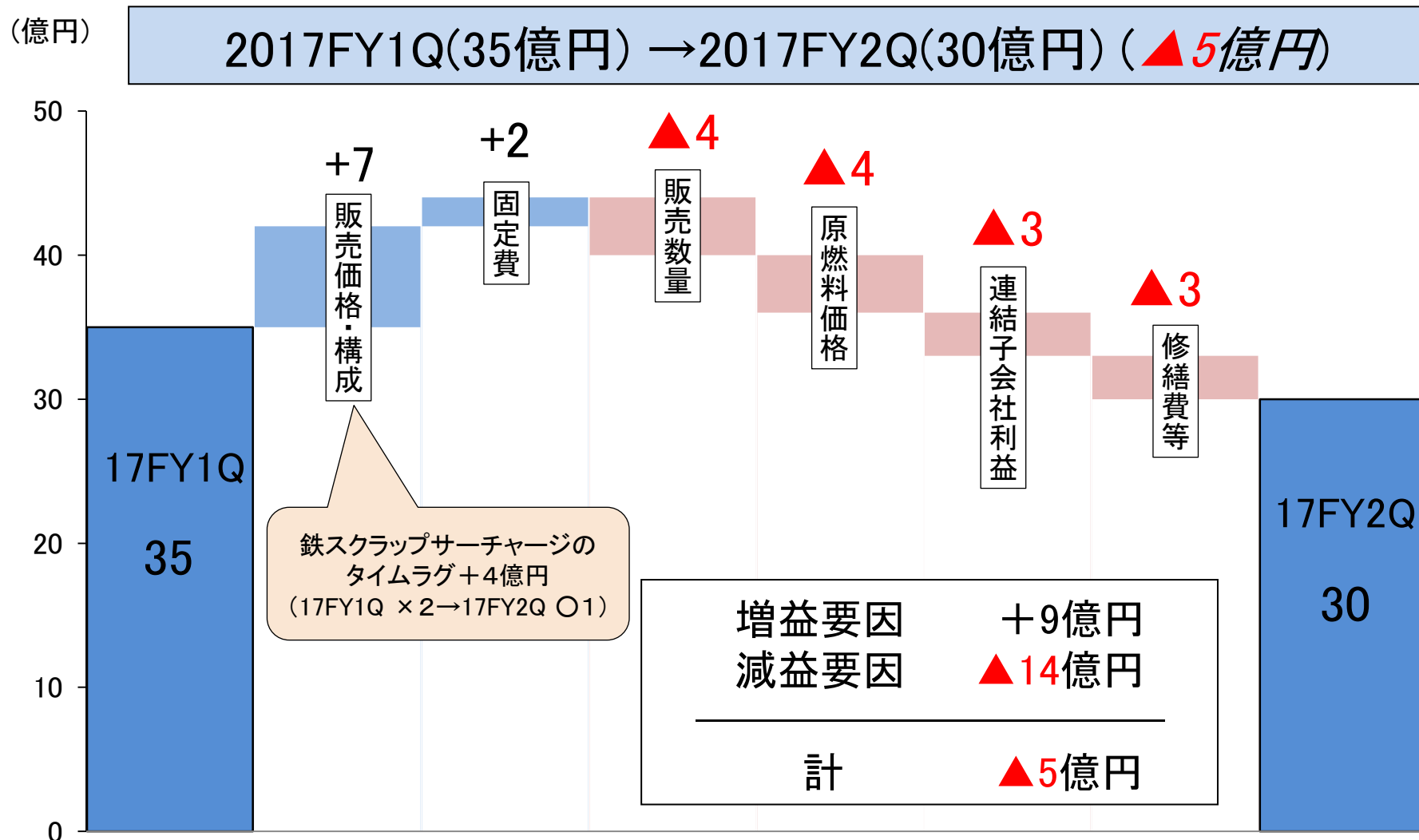


経常利益の変化要因

2016FY下期(70億円) → 2017FY上期(65億円)(▲5億円)



経常利益の変化要因



セグメント別損益

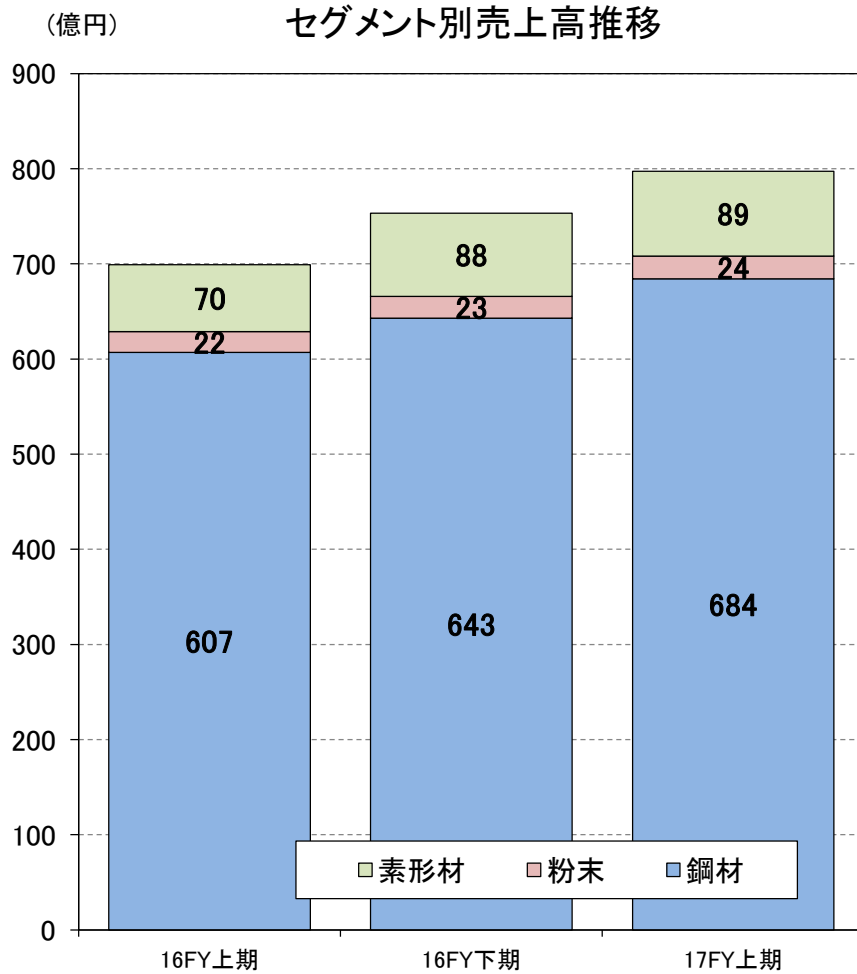
(単位:億円、%)

	2017FY上期(A)			2016FY上期(B)			対前年同期(A)-(B)		
	売上高	営業利益	売上高 営業 利益率	売上高	営業利益	売上高 営業 利益率	売上高	営業利益	売上高 営業 利益率
鋼材(注)	684	55	8.0	607	46	7.6	77	9	+0.4
粉末(注)	24	5	21.6	22	4	17.3	2	1	+4.3
素形材	89	5	5.5	70	2	3.2	19	3	+2.3
小計	797	65	8.1	699	52	7.5	98	13	+0.6
その他	7	0	0.2	8	0	2.4	▲0	▲0	-2.2
調整額	▲44	1	—	▲39	▲0	—	▲5	2	—
連結計	761	66	8.7	667	52	7.8	93	14	+0.9

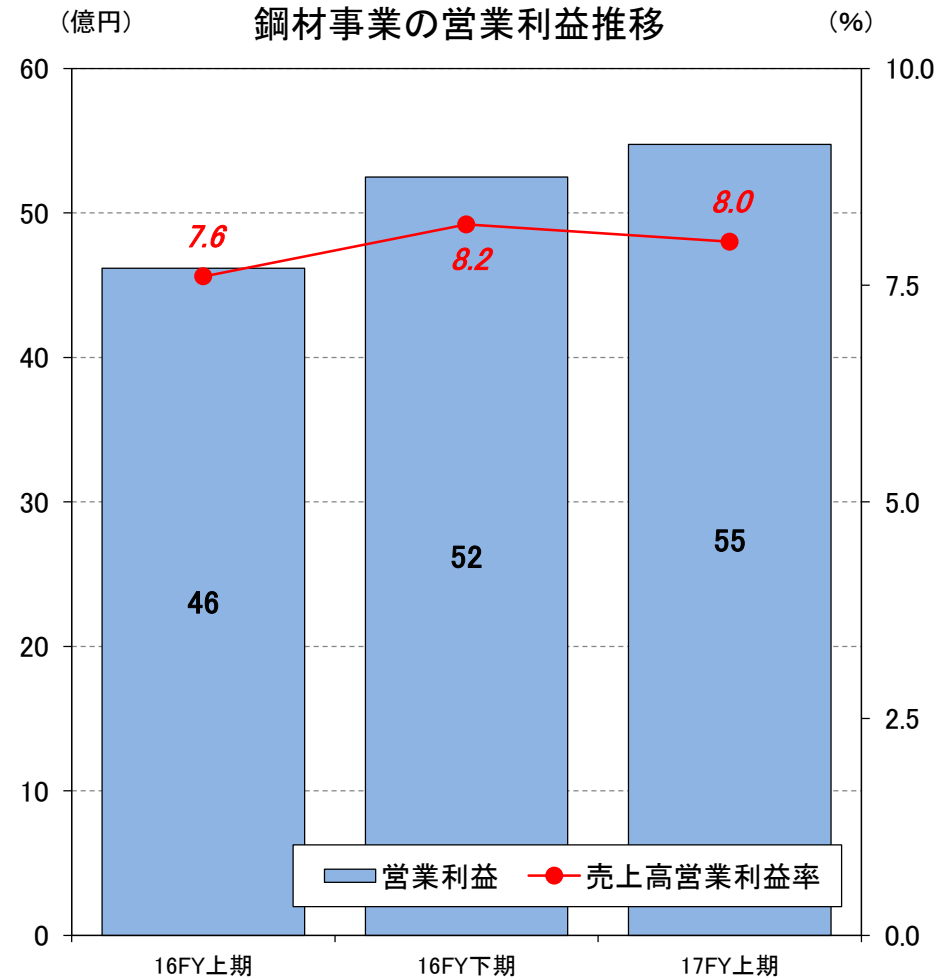
(注) 2017FYより、2017年4月1日付で実施した組織改正に伴い、「特殊材」事業に含めていた「特殊材料事業」及び「金属粉末事業」の内、「特殊材料事業」を「鋼材」事業に含め、従来の「特殊材」事業のセグメント名称を「粉末」事業に変更。

2016FY上期のセグメント情報は、変更後のセグメント区分に基づき記載。

セグメント別損益推移(半期)

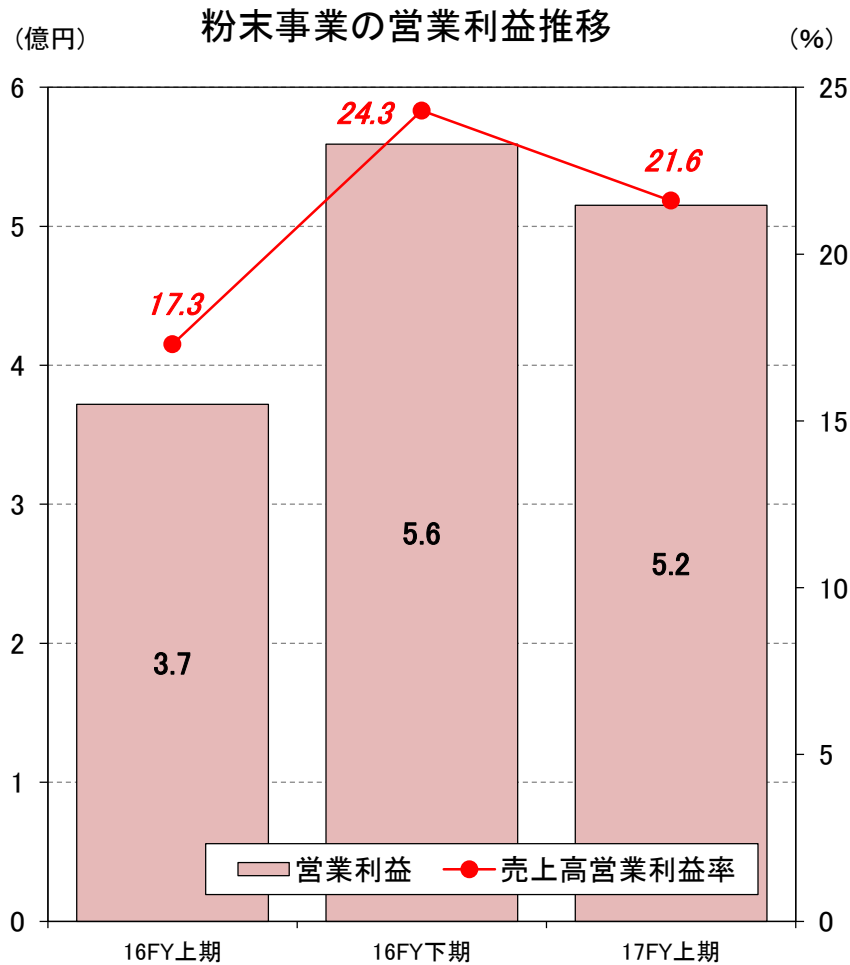


(注)内部取引等を含む。
変更後のセグメント区分で記載。

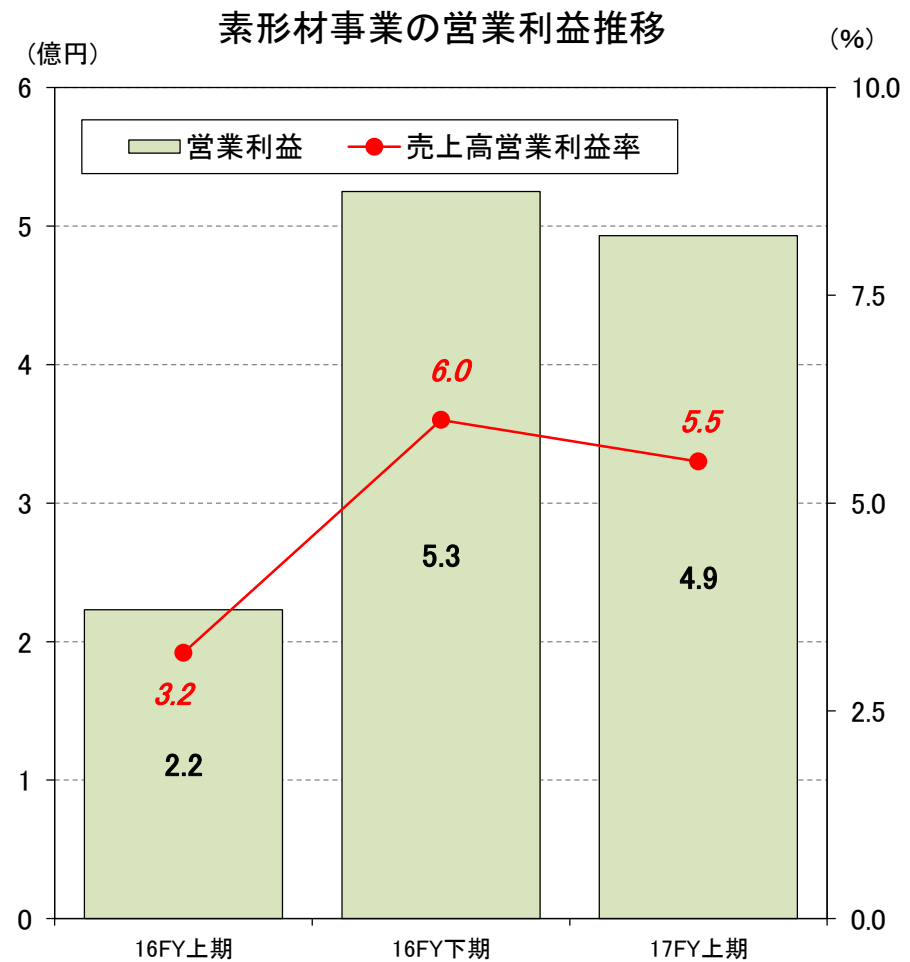


(注)内部取引等を含む。
変更後のセグメント区分で記載。

セグメント別損益推移(半期)

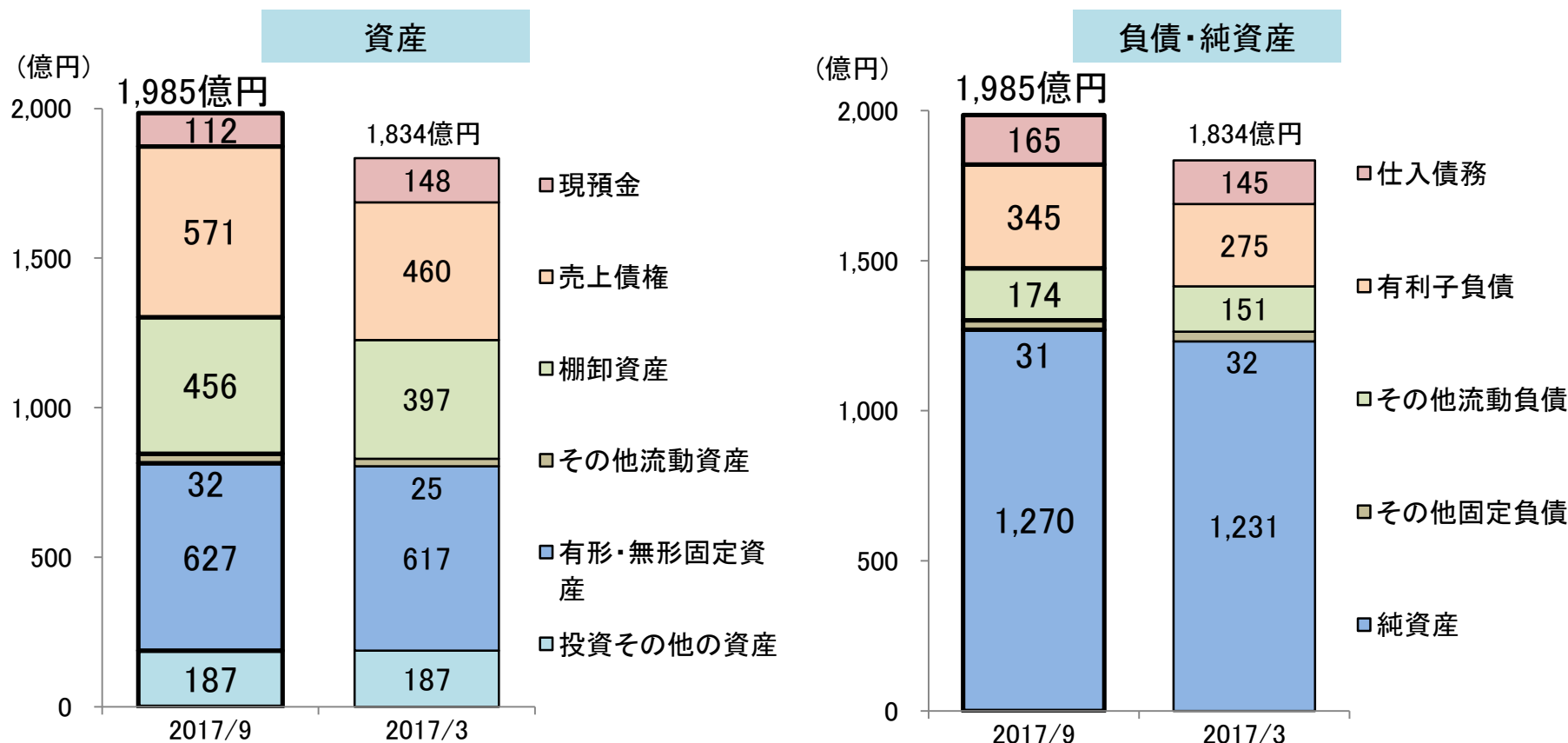


(注)内部取引等を含む。
変更後のセグメント区分で記載。



(注)内部取引等を含む。

貸借対照表



資産の主な増減 +151億円

現預金 Δ 36億円：決算日銀行休日による影響(Δ 31億円)など
 売上債権 +111億円：決算日銀行休日による影響(+61億円)、
 売上増の影響など
 棚卸資産 +58億円：在庫増の影響など

負債・純資産の主な増減 +151億円

有利子負債 +70億円：借入による調達など
 純資産 +39億円：利益剰余金の増加など

キャッシュ・フロー

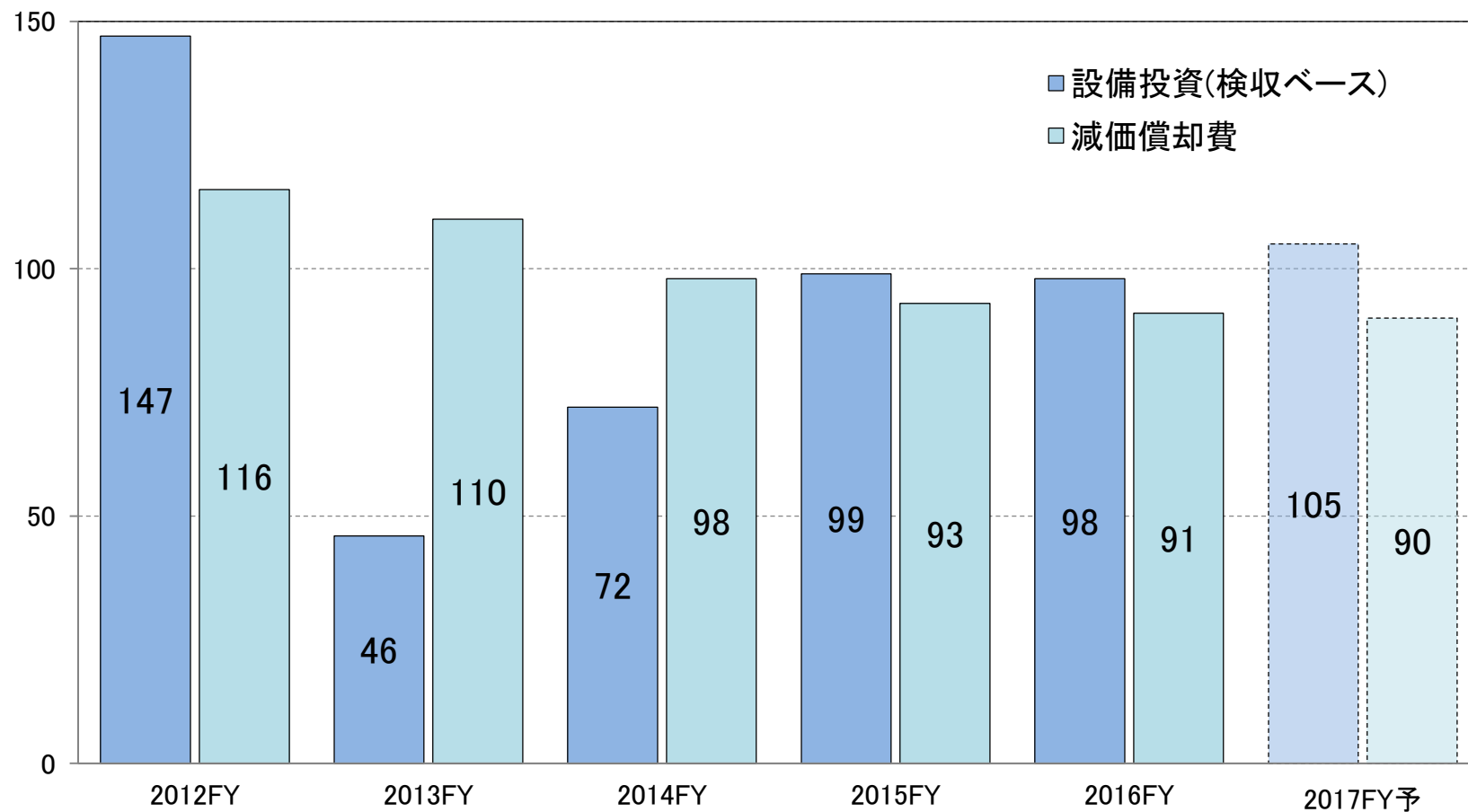
(単位:億円)

	2016FY上期	2016FY下期	2017FY上期
営業活動によるC/F (A)	84	67	(注) △56
税金等調整前当期純利益	46	68	63
減価償却費	44	47	43
法人税等の支払	△19	△20	△18
運転資金等	13	△28	△143
投資活動によるC/F (B)	△64	△48	△44
設備支出	△59	△47	△43
その他	△5	△0	△1
フリー・キャッシュ・フロー (A+B)	20	20	△100
財務活動によるC/F (C)	△24	△83	62
借入金・CPの増減	△15	△75	70
自己株式の取得または売却	△0	△0	△0
配当金の支払	△10	△8	△12
その他	—	—	4
換算差額 (D)	△8	5	2
キャッシュ増減 (A+B+C+D)	△13	△58	△36

(注) 決算日銀行休日による影響(△33億円)含む

(参考)設備投資・減価償却費の推移

(億円)



2017FY業績予想

(単位: 億円、%)

	17FY上期 実績(A)	17FY下期 予想(B)	2017FY通期 (C)=(A)+(B)		2016FY (D)		対2016FY (C)-(D)	
	金額	金額	金額	売上高 比率	金額	売上高 比率	金額	増減率
売上高	761	739	1,500	100.0	1,387	100.0	+113	+8.2
営業利益	66	52	118	7.9	117	8.4	+1	+1.0
経常利益	65	53	118	ROS 7.9	117	ROS 8.5	+1	+0.5
当期純利益(注2)	43	35	78	5.2	78	5.6	+0	+0.2
売上数量(千t/月)	88	88	88.0		84.4		3.6	

(注1) 2017FY通期の業績予想については、2017年7月28日公表値を据え置き

(注2) 親会社株主に帰属する当期純利益

配当について

	2017FY 上期	2017FY 通期予想	(参考) 2016FY実績
売上高	761億円	1,500億円	1,387億円
経常利益	65億円	118億円	117億円
当期純利益(注2)	43億円	78億円	78億円
1株当たり純利益 (注3)	26.44円	242.10円	48.29円
1株当たり配当金 (注3)	6.7円	中間 6.7円 期末29.0円	12.5円 (中間5円、期末7.5円)
配当性向	25.3%	25.8%	25.9%

(注1)2017FY中間配当の効力発生日は、2017年11月30日

(注2)親会社株主に帰属する当期純利益

(注3)2017年10月1日に株式併合(5株を1株)を実施。17FY上期は併合前、17FY期末は併合後の株式を対象。

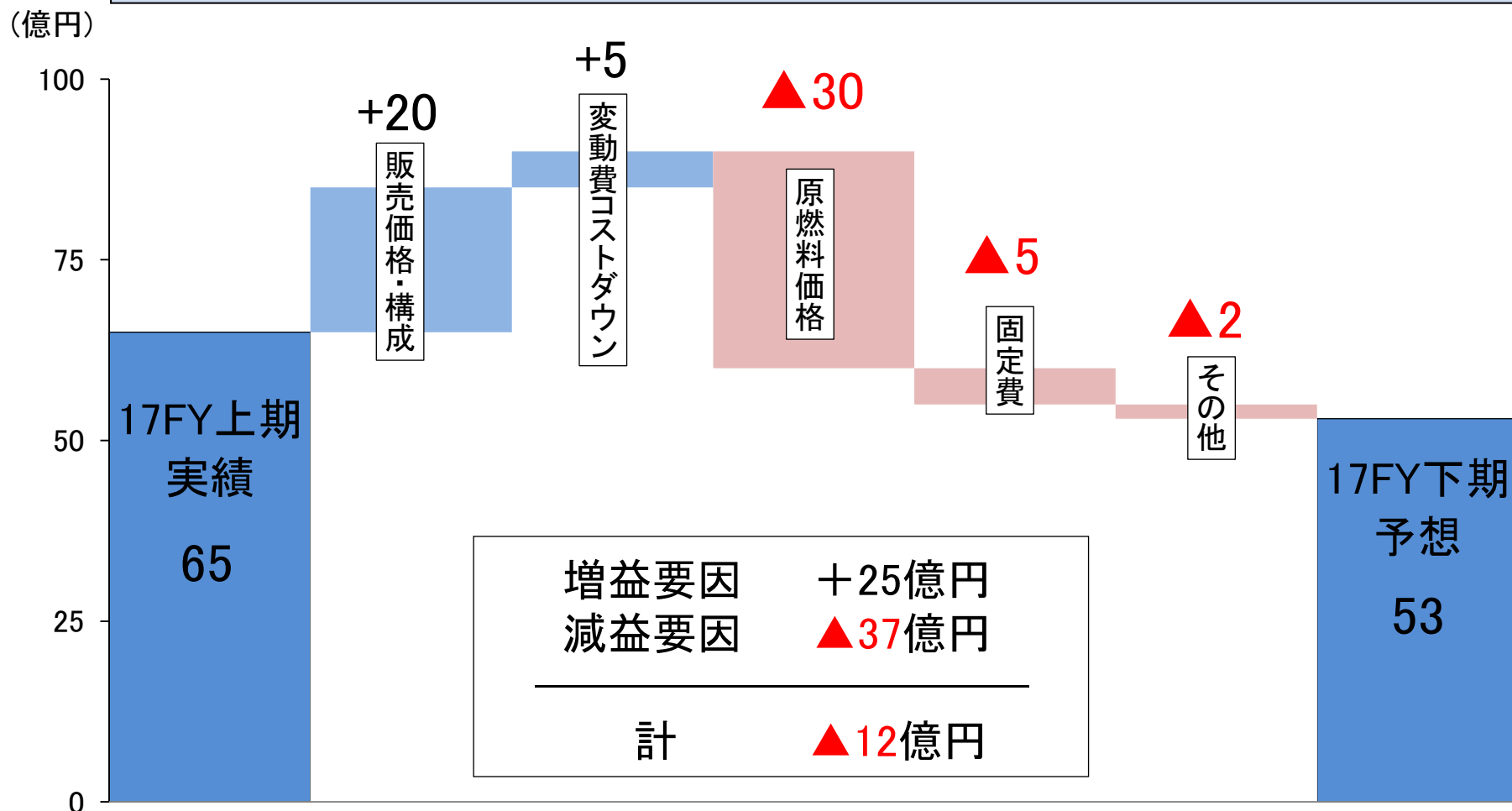
17FY通期の配当予想は、株式併合後で換算すると1株につき62.5円、併合前で換算すると1株につき12.5円。

<配当方針>

連結配当性向25～30%程度を基準とする

経常利益の変化要因

2017FY上期実績(65億円) → 2017FY下期予想(53億円)(▲12億円)



財務指標の推移

		2012FY	2013FY	2014FY	2015FY	2016FY	2017FY 上期	10次中期
ROE(自己資本当期純利益率)(注1)	%	0.5	4.1	6.1	6.6	6.6	6.8	7.0
ROS(売上高経常利益率)	%	1.2	4.2	5.7	7.7	8.5	8.6	9.0
ROA(総資産経常利益率)(注1)	%	0.8	3.4	4.8	6.0	6.5	6.7	7.0
自己資本比率	%	48.6	50.2	55.8	62.4	66.7	63.3	
有利子負債(ネット)	億円	516	478	332	143	127	233	
D/Eレシオ(ネット)(注2)	倍	0.53	0.46	0.29	0.13	0.10	0.18	0.20
1株当たり当期純利益	円/株	3.2	25.2	40.6	46.0	48.3	26.4	
1株当たり純資産	円/株	599	633	700	697	759	781	
期末従業員数	人	2,829	2,775	2,706	2,625	2,598	2,678	

(注1) 2017FY上期については、利益を年換算している。

(注2) 有利子負債から返済に充当可能な現預金を差し引いた純有利子負債の、純資産に対する比率

その他のトピックス

(1)第40回日本金属学会「技術開発賞」を受賞

- ・ニッケル・モリブデンフリー高強度肌焼鋼「ECOMAX4」の開発について、日本金属学会の技術開発賞を受賞。
- ・希少資源Ni、Moを使用せずに高強度化を実現するとともに、熱処理変形の軽減等に寄与する開発が高く評価された。
- ・2017年9月の日本金属学会・秋期講演大会にて授与式があり、受賞講演を開催。
- ・ECOMAX4の特長
 - 1) 結晶粒粗大化の抑制
 - 2) 熱処理変形の軽減
 - 3) 耐ピッチング性の向上



※ 日本金属学会 技術開発賞

創意あふれる開発研究を推奨する目的で、金属工学ならびにこれに関連する新技術・新製品などの独創的な技術開発に携わった技術者に対し授与される。

その他のトピックス

(2)第2粉末工場が稼働

- ・2017年8月9日に竣工式を行い、稼働を開始。
- ・3Dプリンター等による金属粉末の市場拡大、電子部品分野での高信頼性・高純度化ニーズに対応。
- ・新市場創生に向けてクリーン度の高い工場を建設。



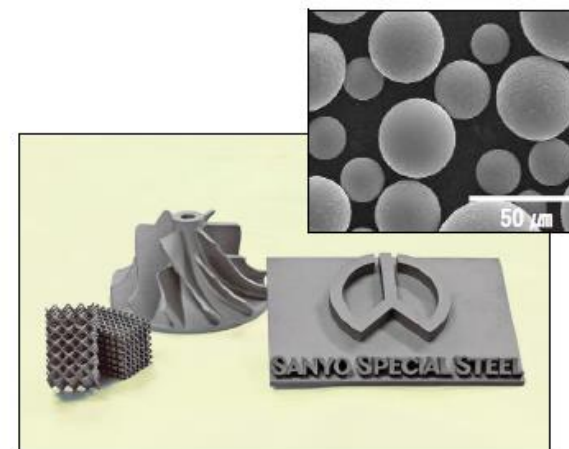
竣工式の様子

【工場概要】

- ・設置場所 : 当社本社工場内(第1粉末工場に隣接)
- ・投資額 : 約20億円
- ・主要設備 : ガスアトマイザー2基
ディスクアトマイザー1基



第2粉末工場の外観

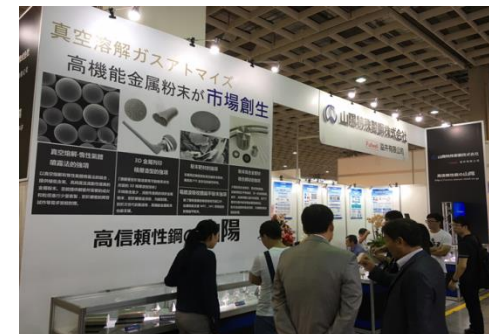
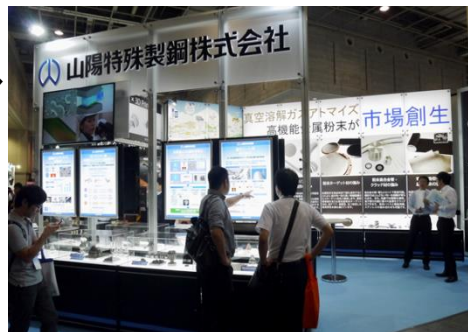


上:高真球金属粉末(電子顕微鏡写真)
下:3Dプリンターの造形例

その他のトピックス

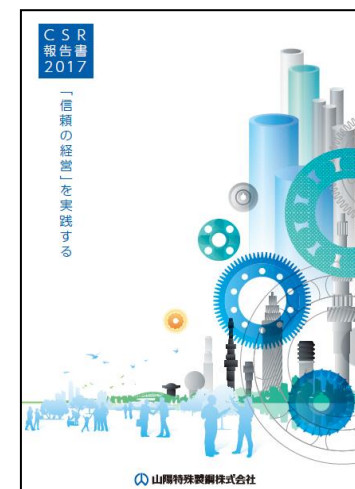
(3) 関西高機能金属展、台湾国際3Dプリンティング展へ出展

- ・2017年9月に開催された両展示会に出展。
- ・高機能ガスアトマイズ粉末、粉末成形品、3Dプリンター造形物等を展示
- ・当社ブースには、多数の方が来場。



(4) 「CSR報告書2017」を発行

- ・2017年9月に「CSR報告書2017」を発行
- ・山陽特殊製鋼グループのCSR活動についてまとめたもので2009年からCSR報告書として毎年発行
- ・当社ホームページにて閲覧可能





“特殊”だけど“身近”な「特殊鋼」



山陽特殊製鋼株式会社



<http://www.sanyo-steel.co.jp>

(ご注意)

本資料の業績予想等は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。いかなる確約や保証を行うものではありません。



「さんとくん」
(当社キャラクター)